



2022年2月期第3四半期 決算説明資料

バリオセキュア株式会社
(証券コード：4494)

2022年1月12日

1. 2022年2月期 第3四半期決算概要	3
2. 2022年2月期 第3四半期状況と業績予想	12
3. 中長期の成長戦略	14
4. 会社概要	17
5. 参考資料	25

1. 2022年2月期第3四半期 決算概要

- 売上収益はインテグレーションサービスが、緊急事態宣言長期化の影響を受け計画に届かなかったものの、マネージドセキュリティ、インテグレーションサービスのいずれも前年同期比増収を確保。営業利益に関しては概ね計画通りに推移。

単位：百万円以下切り下げ表記

(単位：百万円)	21年2月期3Q		22年2月期3Q			
	実績	売上収益比	実績	売上収益比	前年差	前年比
売上収益	1,907	100.0%	1,923	100.0%	16	0.8%
営業利益	598	31.4%	555	28.9%	▲ 43	▲ 7.2%
当期利益	385	20.2%	357	18.6%	▲ 27	▲ 7.2%
一株当たり純利益(円)*1	103.52		94.69		▲ 8.83	
負債比率 (%)*2	59.1%		45.0%		▲ 14.1%	
自己資本比率 (%)*3	54.6%		59.6%		5.0%	

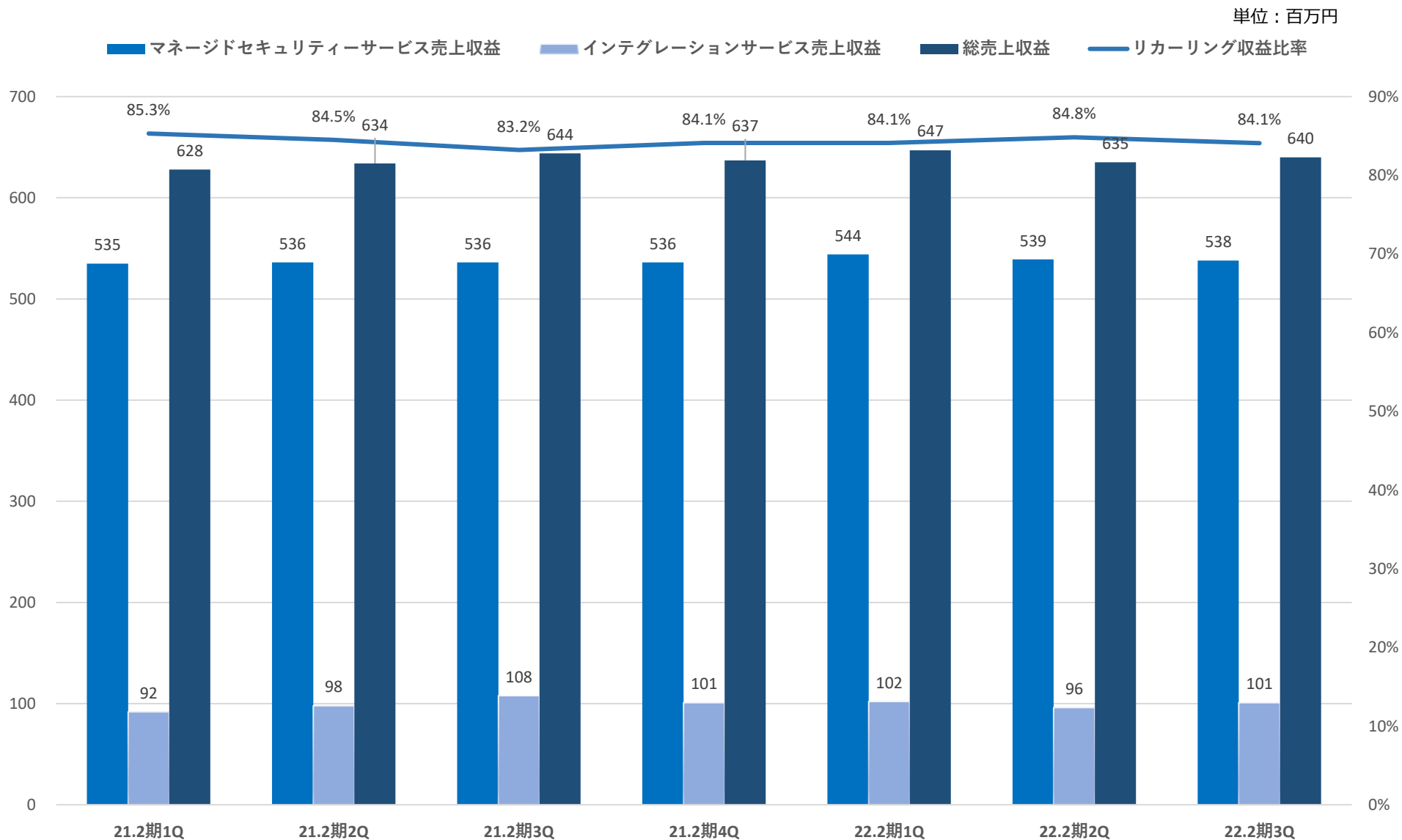
(単位：百万円)	21年2月期3Q		22年2月期3Q			
	実績	売上収益比	実績	売上収益比	前年差	前年比
マネージドセキュリティ	1,608	84.3%	1,622	84.3%	13	0.9%
インテグレーションサービス	299	15.7%	301	15.7%	2	0.8%

*1：一株当たり純利益（EPS）=当期利益÷発行済株式数

*2：負債比率=(短期借入金+長期借入金)÷自己資本

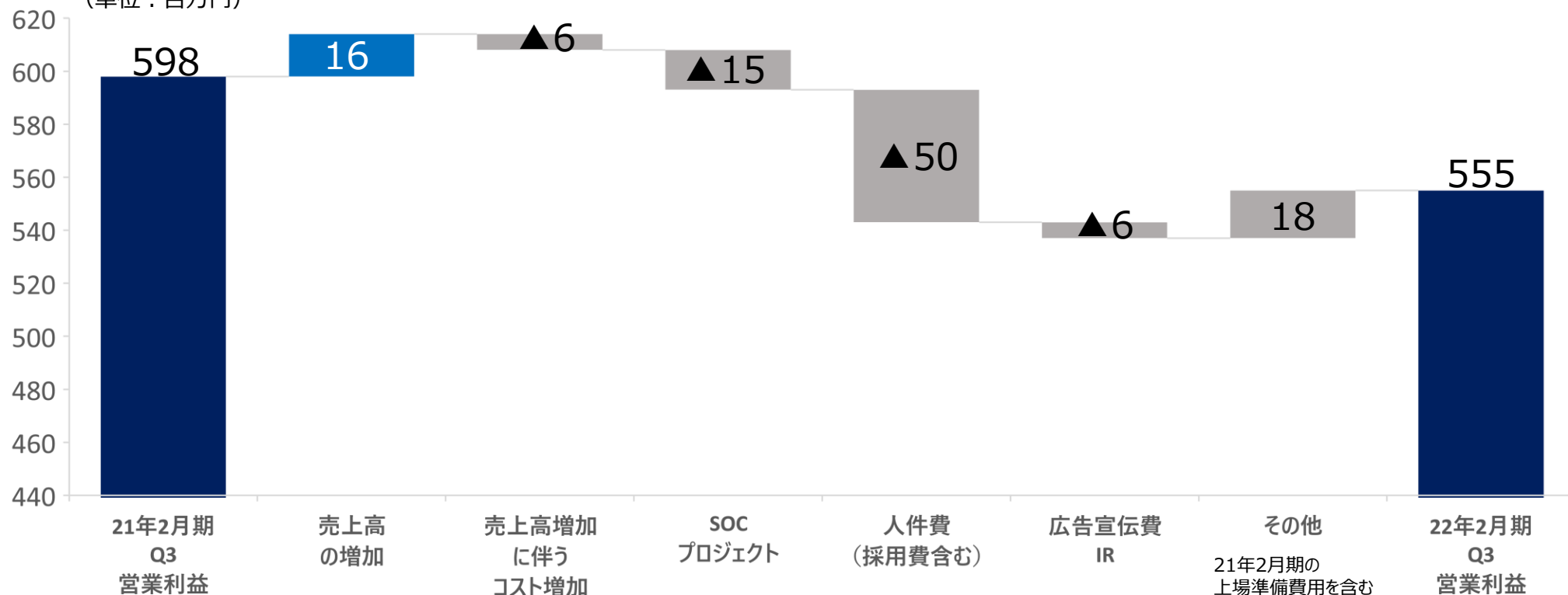
*3：自己資本比率=自己資本÷総資本

■ 85%前後の安定したリカーリング収益の割合を継続



- 営業利益は、前年比▲7.2%（2022年2月期第2四半期累計の前年比▲14.2%）の555百万円、営業利益率28.9%。売上増加+16百万円に対し、材料費増▲6百万円、セキュリティオペレーションセンター(以下、SOC)の統合費用▲15百万円、マーケティング・営業の強化、法務の強化など人材採用▲50百万円、広告宣伝費等の販売費の増加▲6百万円。

(単位：百万円)



- 計画的な借入返済により、Net D/Eレシオ、Net D/EBITDA倍率共に改善傾向にあり、1 Qの期末配当金148百万円の影響あるも、継続的な収益の積上げにより、自己資本比率は+4.8ptの59.6%。
- フリーキャッシュフローは、前年同期比28百万円増の204百万円。

(単位：百万円)	20年2月末	21年2月末	21年11月末	前期末差	コメント
資産合計	7,081	7,216	7,011	▲ 204	■ のれん純資産倍率*1 : 1.48x (2020/2末) → 1.28x (2021/2末) → 1.21x (2021/11末) 継続的な収益の積上げにより倍率は着実に低下
流動資産	1,302	1,319	1,150	▲ 168	
非流動資産	5,778	5,896	5,861	▲ 35	
のれん	5,054	5,054	5,054	0	■ 有利子負債 : 2,521百万円 (2020/2末) → 2,156百万円 (2021/2末) → 1,879百万円 (2021/11末) 計画的な借入返済により残高は着実に減少
負債合計	3,672	3,266	2,835	▲ 430	
流動負債	1,096	992	2,423	1,430	Net D/E レシオ*2 : 55.4 % (2020/2末) → 39.6 % (2021/2末) → 37.2% (2021/11末) Net D/EBITDA倍率*3 : 2.1x (2020/2末) → 1.8x (2021/2末) → 1.8x *4 (2021/11末)
非流動負債	2,575	2,274	412	▲ 1,861	
資本合計	3,408	3,949	4,175	226	■ 自己資本比率 : 48.1% (2020/2末) → 54.7% (2021/2末) → 59.6% (2021/11末) 継続的な収益の積上げにより、自己資本比率は増加
負債及び資本合計	7,081	7,216	7,011	▲ 204	

*1 : のれん純資産倍率 = のれん / 資本

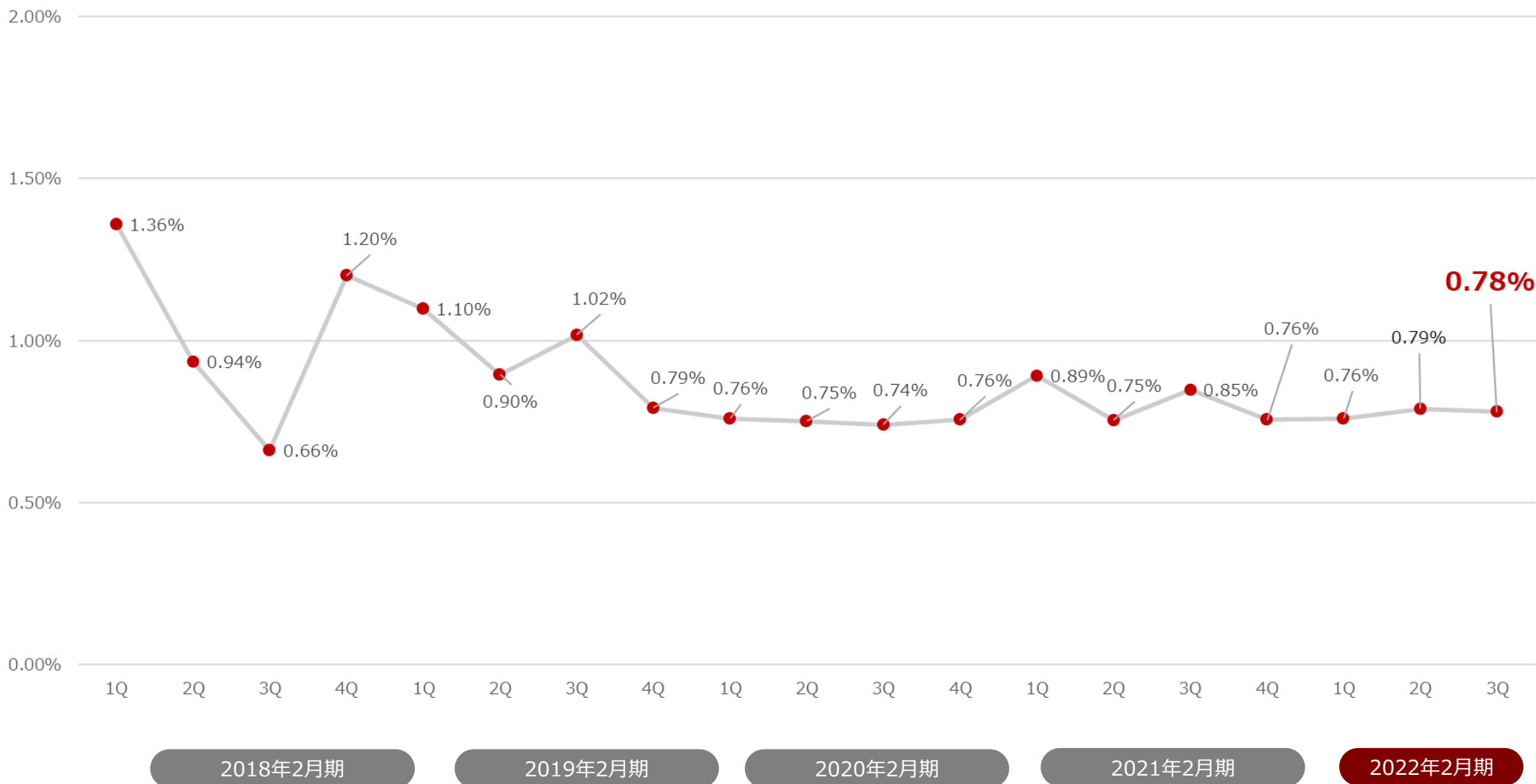
*2 : Net D/E レシオ = Net Debt / 資本 Net D/E (純有利子負債: 有利子負債残高 (短期借入金、長期借入金) - 現金及び現金同等物 (預金))

IFRS(国際会計基準)

*3 : Net D/EBITDA倍率 = Net Debt / EBITDA (償却前営業利益: 金利や税、減価償却費を計上する前の利益)

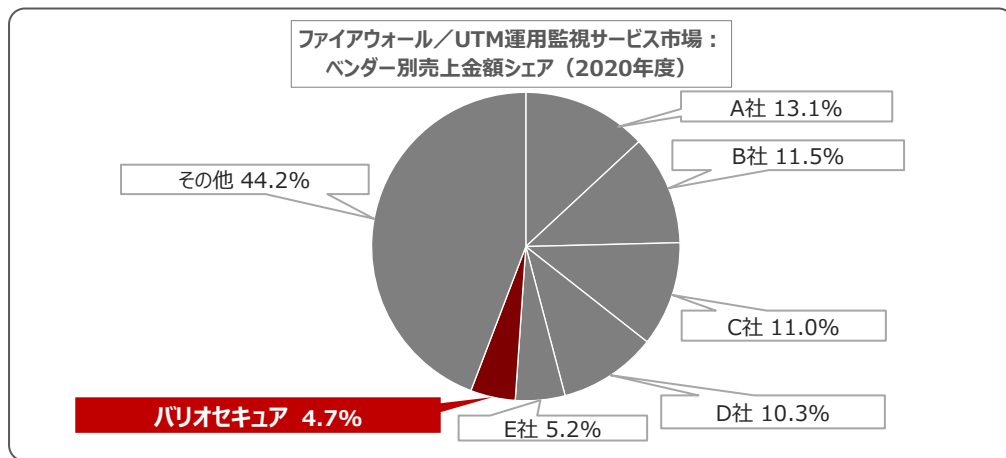
*4 : Net D/EBITDA倍率 = Net Debt / EBITDAx4 ÷ 3

■ 統合型インターネットセキュリティ(マネージドセキュリティサービス)の解約（四半期）は低い水準で推移



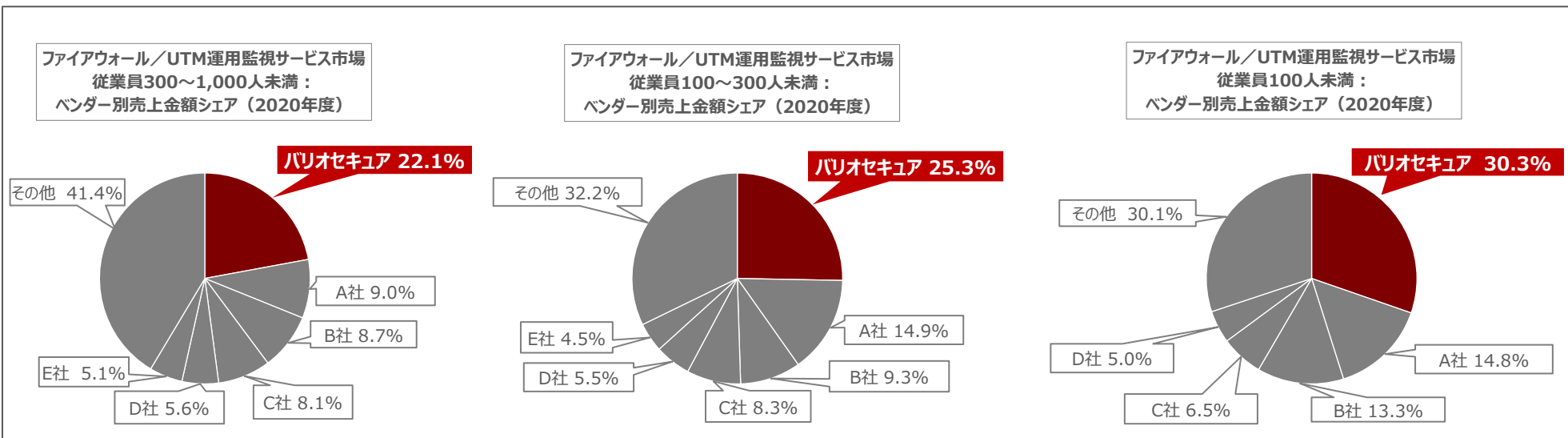
解約率（金額ベース） = 四半期解約金額 ÷ （各年度の期初ベース月次売上収益 × 3ヶ月）

- ファイアウォール/UTM運用監視サービスにおいて、従業員300~1,000人未満、100~300人未満、100人未満では、当社がシェアトップ



ファイアウォール/UTM 運用監視サービス市場：
業種別ベンダーシェア（2020年度）

- 通信業： 当社シェア 2位
- 流通業： 当社シェア 3位
- 製造業： 当社シェア 5位



マネージドセキュリティサービス

Vario EDRのOEM提供をスタート

USEN ICT Solutionsが取り扱い開始

サイバー攻撃対策として注目されるマネージド型EDRサービスの販路拡大

当社のゲートウェイセキュリティサービスのOEM代理店であるUSEN ICT Solutionsが、情報漏えい事故の原因となるマルウェア、ランサムウェアなどのサイバー攻撃を未然に防ぐ対策として注目のマネージド型EDRサービス（Vario EDR）の取り扱いを開始しました。

社内外の出入り口対策（ゲートウェイセキュリティサービス）から端末防御（エンドポイントセキュリティサービス）まで、より安心安全なネットワーク環境の提供が可能となります。

Vario EDR

ランサムウェア被害で高まるデータバックアップサービス

データバックアップサービス（VDaP）に注目

多様な手口のランサムウェア（身代金要求型ウイルス）から企業データを守るデータバックアップサービス

マルウェア感染により、社内サーバーやPCに保存されたデータを勝手に暗号化し使用できなくし、データ復旧に身代金を要求する犯罪により様々な企業が被害を受けています。VDaPサービスは、ランサムウェア感染被害を受けにくい仕組みにより、お客様データの安全なバックアップ対策としてニーズが高まっています。



マーケティング活動

ウェビナー（自社開催+共催）

9月から11月の間、4回のウェビナーを開催

自社ウェビナー、パートナーとの共催ウェビナーを開催し、幅広い層に向けたセキュリティ情報の提供を促進

企業のテレワーク運用から情報システム課題、ネットワークの可視化など、様々なトピックスのネットワーク・セキュリティに関連するウェビナーを実施しています。

自社ウェビナーと併せ、技術パートナー、販売パートナーとの共催ウェビナーを開催し、より幅広い層に向けた情報提供と当社サービスによるソリューションのご紹介を実施しました。

2021年 9月30日	中小企業の情シスが抱えるセキュリティの悩み・現状～対策方法～パリオセキュアからの提案
2021年 10月21日	ネットワークの可視化が鍵！隠れた脆弱性の早期検知とリスク管理によるセキュリティ対策を解説
2021年 11月16日	「ひとり情シス」必見！ネットワーク運用を「丸投げ」した方がいい理由＆社内で使える資料を大公開！
2021年 11月24日	オールインパッケージのマネージドセキュリティ「VSR」を徹底解説！実際の運用管理＆導入イメージをご紹介



セキュリティイベント

Security Days Fall 2021

ニューノーマル時代のエンドポイントセキュリティの強化～MDR活用によるセキュリティ運用負荷の軽減～

最新の脅威動向とセキュリティ対策が集結するセキュリティイベント「Security Days Fall 2021」において、エンドポイントセキュリティ強化の必要性と当社マネージドEDRサービス「Vario EDR」を紹介し、サービスへの理解促進と認知向上を図りました。

統合パッチ管理（ソフトウェアアップデート）

■管理コンソールで脆弱性の可視化（WindowsOS, CentOS, アプリケーション）

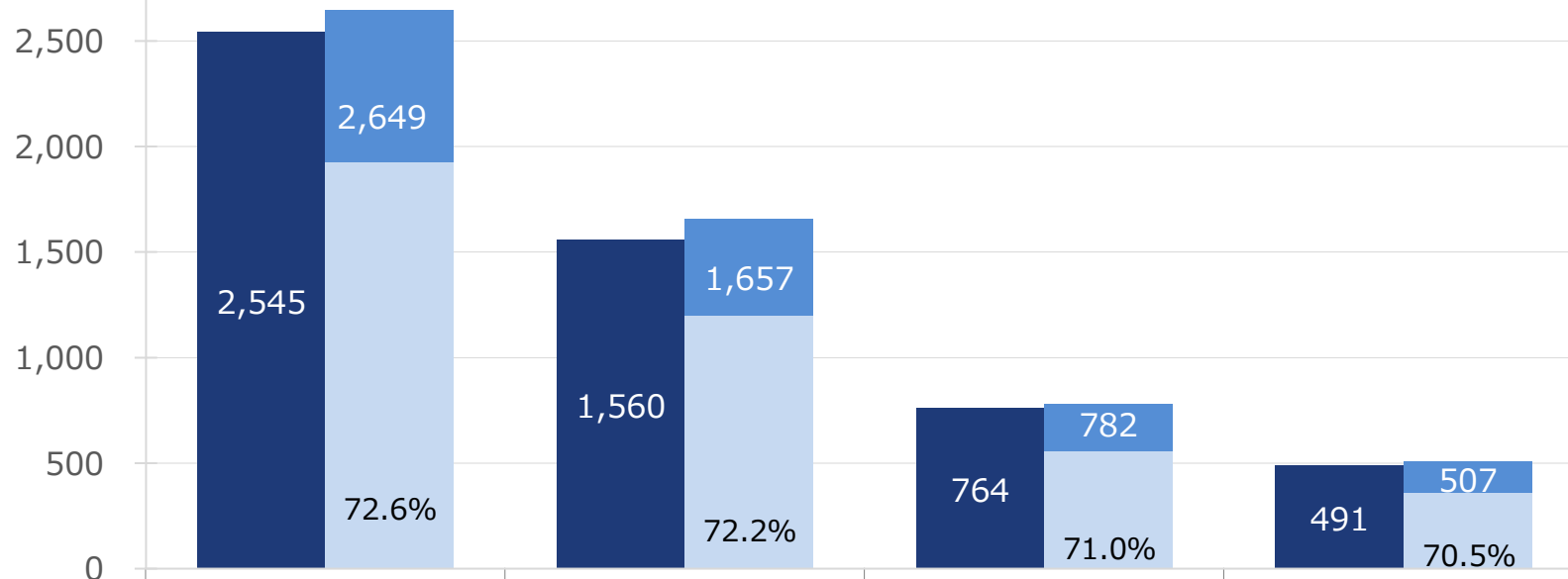
1. 特定	項目	表示例
2. 防壁	・コンピュータ名	雑音
	・セキュリティ情報番号	FSPM-2819-59365-1
3. 検知	・深刻度	重大
	・カテゴリ	セキュリティアップデート
4. 対応	・ソフトウェア アップデート名	Adobe Acrobat Reader DC Continuous
	・CVE ID	Adobe Acrobat Reader DC Continuous 21.007.20095
5. 復旧	・企業名	パリオセキュア
	・インストールのステータス	再起動後にインストールが完了
	・インストール時間	2021-10-01T04:27:02Z

「開発元がパッチを公開した後、PC内にあるアプリケーションバージョンと照合して、パッチが未適用の場合、該当アプリケーションはボールドで表示されます。」

2. 2022年2月期 第3四半期状況と業績予想

- 2022年2月期の方針に従い、マーケティング・営業部門強化を実施。上場に伴い法務部門を強化。売上収益は、前年比+4.1%の2,649百万円。当期利益は、同比+3.3%の507百万円。当期利益率19.2%。
- 2022年2月期第3四半期の進捗は各指標とも70.5%~72.6%であり概ね順調に推移（今後の部材調達に、世界的な半導体供給不足の影響について対策を既にとっており当期の業績に大きな影響はない見通し）。

(単位：百万円)



	売上収益	売上総利益	営業利益	当期利益
■ 21年2月期実績	2,545	1,560	764	491
■ 22年2月期予想	2,649	1,657	782	507
■ 22年2月期3Q	1,923	1,196	555	357

3. 中長期の成長戦略

- サービスの総合力を強化。専用機器とクラウドを組み合わせ、企業にネットワークサービスを提供

ユーザーインターフェースの 統合

クロスセル

利便性向上と相互利用の促進を目指し、ユーザインターフェースを統合

- 統合インターネットセキュリティサービス(VSR)のコントロールパネル
- バックアップサービス(VDaP)のコントロールパネル
- Vario-NSS(企業内ネットワーク管理)のダッシュボード
- Vario Telework Managerのダッシュボード

基盤ソフトの強化/ クラウド対応/ 他社サービスとの連携

チャネル拡大

基幹ソフトウェアの性能向上とシステム連携

- 統合インターネットセキュリティサービス専用ソフトウェアと Vario-NSS(企業内ネットワークサービス)専用ソフトウェアを統合
- 新基幹ソフトウェアのクラウド対応を推進
- 他社ネットワークサービスとの連携

/ VariOS



セキュリティオペレーション センターの 最適化/自動化

コスト削減

ニューノーマルに対応したセキュリティオペレーションセンターの実現

- 当社提供サービスのサポートを統合
- クラウド環境利用による、センターのクラウド化を実現
- ヒアリング内容のデジタル化、設定投入から稼働確認まで自動化

- 企業のインターネット接続の安全/安心から企業内ネットワークインフラ全般まで



ユーザーインターフェースの統合(ダッシュボード)

利用状況の評価/分析/判定

ゲートウェイ

VSR, VCR

機能強化
能力Up

バックアップ

VDaP

ランサムウェア
対策

デバイス探査

Vario
Network
Finder

デバイス監視

Vario System
Monitoring

脆弱性管理

Vario
Vulnerability
Tracker

リモートワーク

Vario
Telework
Manager

EDR

エンドポイント
セキュリティ

ランサムウェア
対策

拡大

SOC(Security Operation Center)の最適化/自動化

4. 会社概要

インターネットを利用する全ての企業が
安心して快適にビジネスを遂行できるよう、
日本そして世界へ全力でサービスを提供する

Vario
Secure

会社名	バリオセキュア株式会社 (Vario Secure Inc.)
創業	2001年6月21日
資本金	3億2,784万円
従業員数	75名
本社所在地	〒101-0054 東京都千代田区神田錦町1-6 住友商事錦町ビル5F
大阪オフィス	〒550-0014 大阪府大阪市西区北堀江1-2-19
福岡営業所	〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東1-12-17
事業内容	マネージドセキュリティサービス インテグレーションサービス

代表取締役社長	稲見吉彦
取締役営業本部長	梶浦靖史
取締役技術本部長	山森郷司
取締役管理本部長	佐藤章憲
取締役社長室長	磯江英子
社外取締役	芝正孝
社外取締役	井口圭一
社外監査役(常勤)	酒井健治
社外監査役	深井英夫
社外監査役	仁科秀隆

Web <https://www.variosecure.net/>

認証 ITSMS (ISO20000) 、ISMS (ISO27001) 、プライバシーマーク

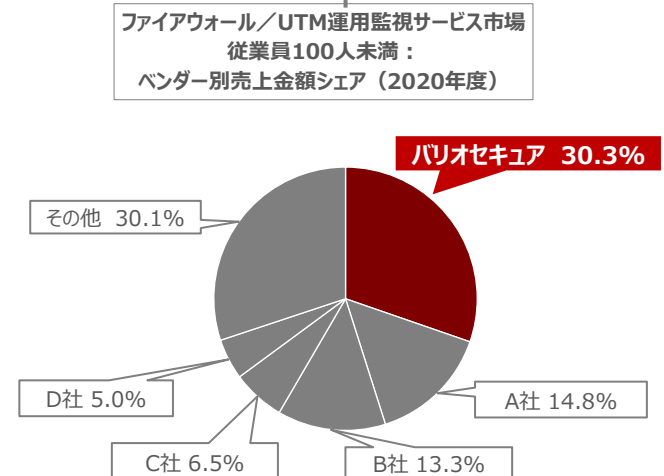
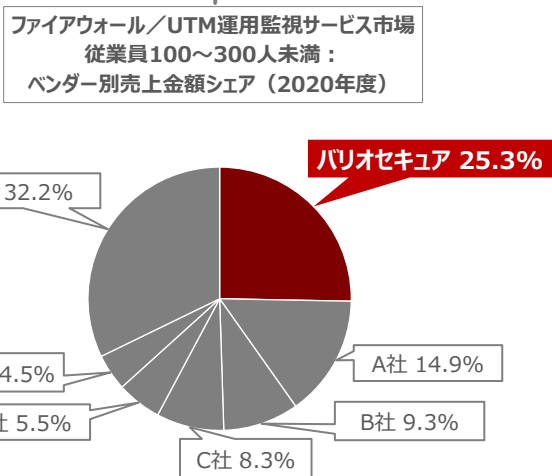
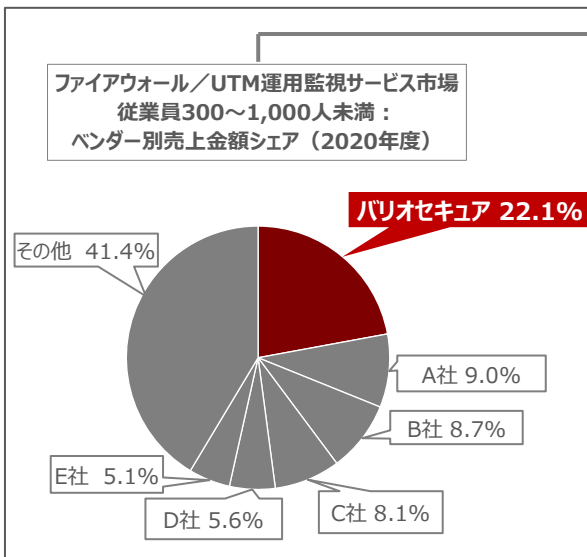
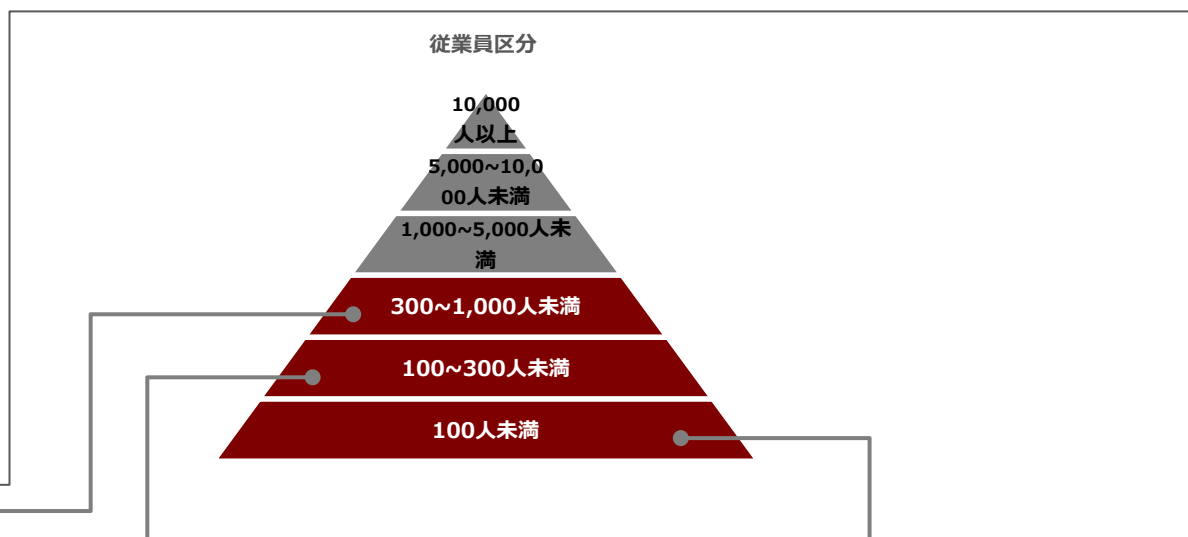
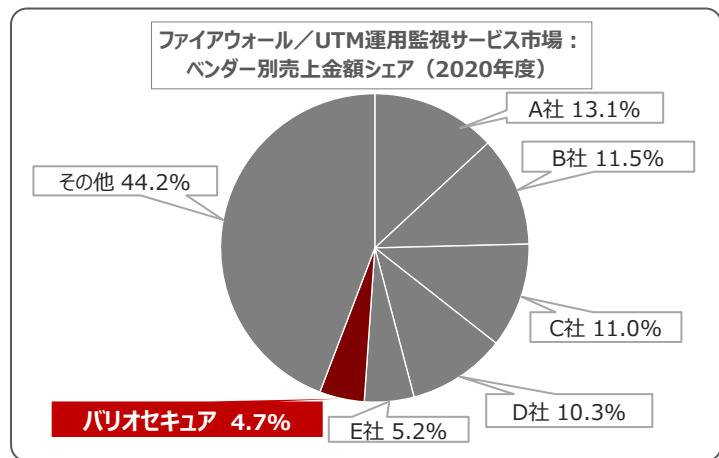


ITMS 652385 / ISO 20000-1



(2021年11月末時点)

- ファイアウォール/UTM運用監視サービスにおいて、従業員300~1,000人未満、100~300人未満、100人未満では、当社がシェアトップ



セキュリティフレームワーク

当社のサービス

構築

- 資産管理
- 脆弱性管理

ネットワークインテグレーションサービス

特定

Vario Network Security Suite

防御

- アクセス制御
- 不正侵入防御

VSR-Vario Secure Router
(統合型インターネットセキュリティサービス)

検知

- セキュリティイベントの検知、監視

VCR-Vario Communicate Router
(中小企業向け統合セキュリティ機器販売)

対応







Vario-EDRサービス

VSR-Vario Secure Router
(統合型インターネットセキュリティサービス)

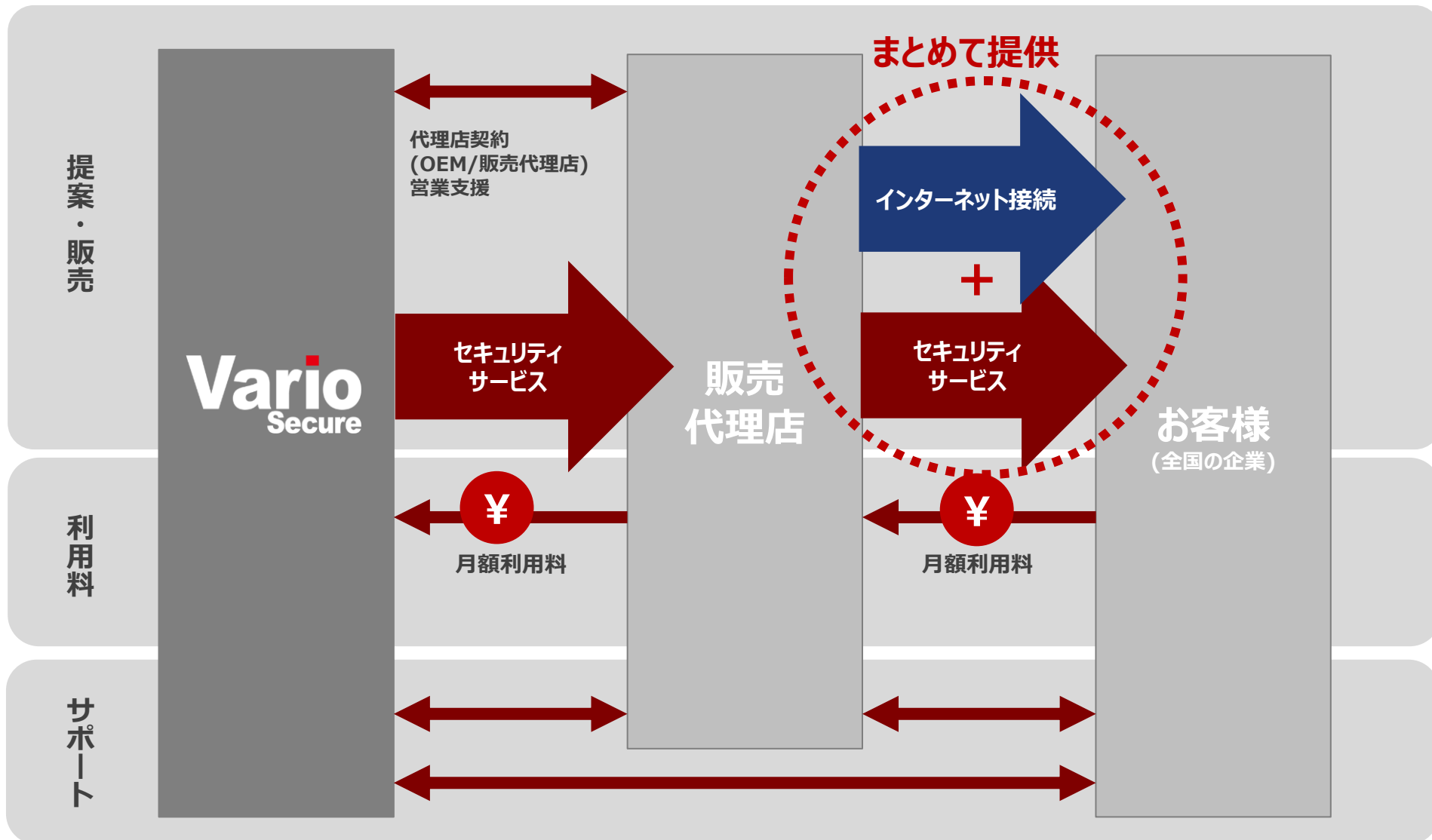
復旧

VDaP-Vario Data Protect
(データバックアップサービス)

■ 企業のインターネット利用を安全・快適にできるサービスを提供

サービス区分	マネージドセキュリティサービス	インテグレーションサービス
サービス形態	導入支援・導入・運用・保守 24時間/365日、日本全国	機器販売・構築
収益モデル	リカーリング型（月額課金）	一時課金型
サービス内容	<p>① 統合型インターネットセキュリティサービス(マネージド型) インターネットの出入口を守る</p>  <p>VariOS </p> <p>マネージドセキュリティサービス専用機器 VSR—Vario Secure Router</p>	<p>① 中小企業向け統合セキュリティ機器販売(販売型) 50名以下ならこれ1台で安心</p>  <p>中小企業向け統合セキュリティ機器 VCR—VarioCommunicate Router</p>
	<p>② データバックアップサービス もしもの時のデータ保持</p>  <p>データバックアップサービス専用機器 VDaP—Vario Data Protect</p>	<p>② ネットワークインテグレーションサービス（以下、IS） ・ ネットワーク機器の調達や構築 社内のネットワークの構築 （無線LANネットワーク）</p> 
	<p>③ Vario-NSS(Network Security Suite) 不正端末発見, 脆弱性管理</p> 	
	<p>④ Vario-EDRサービス 少ない運用負担で、サイバー攻撃 の発見と対応を支援</p> <p>Vario EDR</p>	

- 主にインターネット回線に付帯して提供



- 通信キャリア、Sier、電力系通信会社様等との間で、OEM契約を締結し、長期に亘るパートナーシップを構築

マネージドセキュリティサービスのOEMパートナー

全31社（2021年8月末時点）

アルテリア・ネットワークス株式会社

ICTをだれでもすぐに
NJCネットコミュニケーションズ株式会社

※左上から右下への50音順

他多数

5. 參考資料

■ 企業のインターネット接続からテレワークのセキュリティまで様々なニーズ対応

お客様ニーズ		サービス	メリット
①	インターネット接続のセキュリティ/運用をまかせたい	統合型インターネットセキュリティサービス(VSR)	<ul style="list-style-type: none"> 専用機器を設置するだけの簡単導入 社内担当者の運用負担を大幅軽減 手間なく機器を最新状態に維持できる 24時間365日の運用監視、サポートに対応可能 万が一の障害時の手厚いサポート
②	社内の端末情報を負担なく把握したい	Vario-NSS	<ul style="list-style-type: none"> 専用機器を設置するだけの簡単導入 端末へのソフトウェアインストールは不要 端末のIPアドレス情報などを自動取得 脆弱性管理を大がかりなシステム不要で実現 運用負担の少ないシンプル構成
③	テレワーク端末の脆弱性対策と、社員の業務状況を可視化したい	Vario Telework Manager	<ul style="list-style-type: none"> テレワークの端末情報を把握・管理が可能 テレワークのセキュリティレベルを向上 脆弱性を可視化し、更新の未適用を把握 テレワーク社員の業務状況を、通信量、アプリの稼働状況から確認可能
④	管理や運用負担なく、社内の重要データをバックアップしたい	Vario Data Protect	<ul style="list-style-type: none"> 必要な機器、ソフトウェア、クラウド環境を月額定額でご利用可能 ランサムウェア感染リスクを軽減した仕組みによる安全なバックアップ ローカルのバックアップ用機器+クラウド2拠点への冗長対策済み 管理・運用負担を軽減したマネージド型サービス
⑤	標的型攻撃やランサムウェアなどのサイバー攻撃被害を未然に防ぎたい	Vario EDRサービス	<ul style="list-style-type: none"> 高度化したウイルス、マルウェア対策として効果的 マネージド型サービスにより、リスクの高い攻撃検知後の対応をサポート 少ない運用負担で、社内だけでなくテレワーク環境の端末保護にも有効
⑥	メールの誤送信防止を強化したい	メールセキュリティサービス	<ul style="list-style-type: none"> メールを一定期間保留し、メール送信のキャンセルに対応 上長の承認機能など、重要メールの送信ミスを防止 様々なルール設定に対応した送信ブロック機能により送信ミスを排除
⑦	社内のファイル共有を安全かつ便利に実施したい	FileFlex	<ul style="list-style-type: none"> 社内のファイルサーバのファイルを、クラウドやVPNを利用することなく簡単、安全にファイル共有可能 アクセス権限の設定やアクセス履歴確認など、自由度を損なうことなく安全性を確保
⑧	自社のネットワーク課題を解決するための環境を構築したい	ネットワークインテグレーションサービス	<ul style="list-style-type: none"> 様々な環境構築実績を持つ、ネットワーク、セキュリティを熟知した技術者による対応 お客様ニーズに沿った幅広い機器・サービスの選定が可能 オンプレミスからクラウドまで幅広い領域をカバー

- 本資料には、当社に関連する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記載が含まれています。これらは、当社が作成時点において入手した情報に基づく、当該時点における予測等を基礎として作成されています。これらの記載は、一定の前提および仮定に基づいており、また、当社の経営陣の判断または主観的な予想を含むものであり、国内外の経済状況の変化、市場環境の変化、社会情勢の変化、他社の動向等の様々なリスクおよび不確実性により、将来において不正確であることが判明しまたは将来において実現しないことがあります。したがって、当社の実際の業績、経営成績、財政状態等については、当社の予想と異なる結果となる可能性があります。
- 本資料における将来情報に関する記載は、作成時点のものであり、当社は、それらの情報を最新のものに随時更新を行う義務を負うものではありません。
- 本資料に記載されている当社以外の企業等に関する情報および第三者作成にかかる情報は、公開情報または第三者が提供する情報等から引用したものであり、そのデータ、指標、分析等の正確性、適切性等について、当社は独自の検証を行っておらず、何らその責任を負いません。